

「ヒートアイランド抑制ブロック」の概要

1. 特 長

- (1) 石炭火力発電所で発生する石炭灰を再生利用して保水性を高めた舗装用のブロックで、高い冷却効果と舗装材として十分な強度を有している。
- (2) ブロックを硬化させるためのセメントを除き、石炭灰などを再生利用している。
- (3) 当社子会社である東電環境エンジニアリングが特許実施権をもつ「無焼成レンガブロック製造技術」により製造しており、製造に伴うCO₂排出量の抑制を実現。

2. ブロックの種類

- (1) クリンカアッシュ^(注1)を配合したブロック
- (2) 石炭灰固化砕石^(注2)を配合したブロック

(注1) クリンカアッシュ

微粉炭燃焼ボイラの炉底で採取される砂れき状の石炭灰。ヒートアイランド抑制ブロックには、粒の直径が5mm未満のものを使用する。

(注2) 石炭灰固化砕石：

微粉炭燃焼ボイラの燃焼ガスから集塵器で採取される石炭灰（フライアッシュ）に石灰や水を加えて混合し、コンクリートのように固めた後、砂れき状に砕いたもの。ヒートアイランド抑制ブロックには、粒の直径が5mm未満のものを使用する。

3. 実証試験に使用するブロックの性能

	クリンカアッシュ 配合	石炭灰固化砕石 配合	(参考) 社団法人インターロッキングブロック舗装技術協会が定めている「保水性ブロック」の品質規格の一例(厚60mmまたは80mm)
保水性	0.25g/cm ³ <約1.7倍> ^(※)	0.32g/cm ³ <約2.1倍> ^(※)	0.15g/cm ³ 以上
曲げ強度	6.7N/mm ² <約2.2倍> ^(※)	6.5N/mm ² <約2.2倍> ^(※)	3.0N/mm ² 以上 *歩道規格値

(※) : < >内は品質規格との比較